

【 酒田駅周辺地区グランドデザイン検討懇談会 】

第 3 回 概 要 録

-
- 1 日 時 平成26年10月28日(火) 午後1時30分～
2 場 所 酒田市役所 4階 第一委員会室
3 内 容 以下のとおり

(1) 駅前広場に必要な機能、規模等について

- 限られているスペースで必要な機能の全部を当てはめるのは不可能ではないか。
- 駅前広場に必要な交通結節機能をすべて入れるのは、かなり無理があると思う。
- 米沢駅は、東西にバス停留所、駐車場、駐輪場などが整備されていたが、酒田の駅前広場の広さで同じような整備ができるのかスペース的に懸念がある。
- バスとタクシーはスペースが必要なので、駅前広場では少し狭いと思う。
- 駅前広場に整備できない機能は旧ジャスコ跡地で補うなど、一体的に整備をするべきではないか。
- 駅前商店街の夏祭りなどのイベント時には駅前広場は狭いと感じる。広場機能は旧ジャスコ跡地に整備してはどうか。
- バスを入れるには駅前広場は狭いので、旧ジャスコ跡地に整備した方がいいのではないか。
- 駅舎の改築計画は無いという前提で進めないと駅前広場は整備できないと思う。
- 駅舎が線路側に下がらないと広場が狭いままなので、現状では解決できないのではないか。
- 駅前広場が狭いなら、立体的な考え方はできないか。駅前広場に駅舎が隠れるくらいの建物を建築し、旧ジャスコ跡地にはバスロータリーや広場を整備するなど、駅舎側とつないで一体的な整備を考えてはどうか。
- 3次元的な考えでは、狭い駅前広場と新しい可能性を持っている旧ジャスコ跡地と一体的に整備し、交通機能で都市施設をつなぐことが議論できるのではないか。
- 交通結節機能が駅前には必要だと思う。
- 現在のバスは道路で乗り降りしており、利用者のことを考えると駅舎の近くが理想である。
- バスは1箇所でも乗り降りがいいと思うし、バス、タクシーが駅前にあるのはいいと思う。
- バスが入るかどうかは、バスの種類によって必要な面積が違う。例えば、大型の高速バスや貸切バスはどうするのか。
- 駅舎正面をバス、タクシーにするのはいいが、ルールを知らない一般車も入ってくるので、混雑すると今以上に悪くなると思う。

- 短期整備でバス停を設けた後に駅舎の位置が大きく変わることがないようにJRと協議していくべきと思う。
- 短期的な部分では、駐輪場を含めた二次交通の利便性が最初で、それから駐車場整備、人の集まるような利便性だと思う。
- 高校生の利用が多いので駐輪場は無視できない。ただし、場所は奥に配置することで、駅前広場を交番前まで将来的にも大きい広場として使えるようにすることもいいのではないか。
- 駅舎改築の際に、短期で整備したものを壊す必要が出てくるのなら、今できるのは駐輪場くらいしかないのではないか。

(2) 旧ジャスコ跡地の整備について

- 旧ジャスコ跡地は、短期といいながらも時間がかかるようであれば、とりあえず超短期として駅前広場を整備することも必要なのではないか。
- 旧ジャスコ跡地は、民間事業者では立ち行かないので、市が核となる公共施設を整備するなど中核を担う必要があると思う。
- 旧ジャスコ跡地は、高校生の意見などから公共的な施設も必要であるが、交流人口を増やし賑わいを出すには、お金を使うような商業的な整備をすることが重要である。
- 将来的な道路計画なども視野に入れて整備しないといけない。

(3) その他

- 駅前広場は、交通機能の結節点をおさえるもので出発点であると思う。そのことが観光客にとっても、日常使う人にとっても良いことにつながると思う。
- 新しい駅前には情報を生み出せるまちづくりとして、住んでよし、訪れてよし、会えてよしというような場所が作ればいいのか。
- 交流人口の増加なのか、まちなか居住なのか、どこに力点をおくのかで整備内容が変わってくるのではないか。
- 駅前広場を整備するコンセプトをしっかりとする必要があり、駅前は、交流人口の拠点ということで観光という視点で考えてはどうか。観光を考えた整備をすることで商業など他のものも生きていくのではないかと思う。
- 駅前広場のハード整備だけでなく、ソフト面との連携も重要ではないか。例えば、鳥取では外国人1,000円タクシーなどで観光対策をしており、そういう取り組みも必要になるものと思う。
- 人口減少のなか、人の流れを変えるということでも東西道路と地下道の整備も必要ではないか。